



令和7年5月6日、国道330号石平交差点で発生した車両事故において、現場に居合わせ、炎上寸前の危険な状況にもかかわらず、迅速に事故車両の運転手の方々を車外へ救出されました。その直後、車両から激しい炎が上がり、もし救出が数秒でも遅れていれば、大惨事になっていたことは想像に難くありません。救助活動を行った上間さんに対し、本消防組合管理者より感謝状が贈呈されました。

## 中城北中城消防組合

中城北中城消防本部・消防署

〒901-2314 北中城村字大城 404 番地

TEL 098-935-4747

FAX 098-935-3338

URL <https://www.nakakita-fd-okinawa.jp>

### 中城出張所

〒901-2406 中城村字当間 170 番地

24時間365日

## 救急の

## 電話相談窓口

- ・医師、看護師、相談員が対応
- ・医療機関案内
- ・119番相談



シャープ # 7 1 1 9

救急車を呼ぶ? 病院へ行く? 様子を見る?

「急な病気」や「けが」で迷ったら...

## 消防長就任のご挨拶

4月1日付で中城北中城消防本部の消防長を拝命しました。中城村及び北中城村の「安全・安心」のため、微力ではありますが、消防行政の充実強化に全力を尽くす所存でございます。近年は複雑多様化する大規模災害や地震などの自然の驚異、そして、昨年本島北部で発生したような局地的な集中豪雨など災害は多様化の一途をたどっています。このような状況下の防災力向上は、消防行政における喫緊の課題であり、一層研鑽を積み、職務に邁進して行く次第でございます。今後、南海トラフ地震など大規模災害が予想される中、消防の「公助」だけでは対応が難しいことも認識しております。住民のみなさま一人ひとりが「自助・共助」の意識を持ち、日頃から災害リスクの軽減に取り組んでいただくことが、地域全体の防災力の向上につながるかと考えております。また、救急事案の増加に伴い、医療機関との連携を強化し、救急隊員一人ひとりの知識と技術の向上に努め、救命率の向上につながるよう救急体制の強化を引き続き図ってまいります。今後も、住民のみなさまが安心して暮らせる災害に強い安全なまちづくりを目指し、関係各機関と連携を図りながら、住民のみなさまの「安全・安心」を守り、負託に応えられるよう、各種施策を推進してまいりますので引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

消防長 安里 紀人

## 新職員の紹介



とぐち かや  
渡口 佳也

渡口佳也と申します。  
私は部活動やウェイトトレーニングを通して培ってきた筋力と体力を、中城北中城消防吏員として発揮し、地域住民の安全を第一に考え、災害現場の最前線で人命救助に貢献したいと思い志望いたしました。  
消防学校で体力と気力を錬成し、一人前の消防吏員になれるように全力で努めてまいります。よろしくお願いいたします。



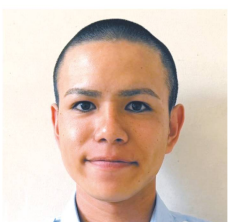
ごや あおい  
呉屋 碧海

呉屋碧海と申します。  
私は幼い頃から消防官という職業に憧れをもち、今年から中城北中城消防の一員として働くことをとても光栄に思います。これからは消防官として少しでも多く、地域の人の役に立ち、災害現場では人命救助に取り組みたいと思います。そして地域の方々が安心して暮らせる町になるよう貢献していきたくと思います。



しま りゅうき  
島 琉希

島琉希と申します。  
現在、約半年間の初任課程で同期と共に切磋琢磨しながら訓練等に励んでいます。この半年間で基礎知識・基礎技術を修得し、私たちが必要とする地元北中城村・中城村の住民に全力で応えられるよう精進して参ります。よろしくお願いいたします。



よしの ゆうと  
吉野 優人

吉野優人と申します。  
私はこれまで部活動を通して培ってきた体力を、地域住民の方々の人命救助に活かしたい、貢献したいという思いで現在活動しています。  
これからも日々を大切に、知識、技術、体力の向上に努め、頼れる消防職員を目指し尽力いたします。よろしくお願いいたします。



にしひら りりか  
西平 梨々果

西平梨々果と申します。  
私は、災害対応や人命救助をするにあたって、最前線で活動している消防官に魅力を感じ、住民の安心と安全の確保に努め、地域に貢献したいと思い、志望いたしました。消防学校での研修を通して、知識と技術の修得に励み、地域住民に安心と安全を与えられるよう、日々尽力いたします。よろしくお願いいたします。



なかむら こうだい  
仲村 幸大

仲村幸大と申します。  
幼い頃から育ってきた故郷の住民の命を守りたくて消防士を目指しました。  
現在、消防学校で知識と技術の修得、体力と気力の錬成に励み、立派な消防士になれるように切磋琢磨しています。



みやぎ はるき  
宮城 遼己

宮城遼己と申します。  
私は地元の皆さまの命と暮らしを守りたいという気持ちから消防士を目指しました。  
常に向上心を持ち、体力だけでなく周囲への心配りや状況を把握する力を養いながら、即戦力になれるよう日々成長していきたくと思います。少しでも地域に貢献できるよう努めてまいります。

## 消防団員の紹介



とうやまかのこ  
當山 華乃子

當山華乃子と申します。  
令和7年5月から消防団に入団しました。消防団員の一員としての責任を持って、防災に対する意識を高く持ち、行動していきたいと思っています。

# 消防の予算について

令和7年度の中城北中城消防組合の一般会計予算は、歳入(収入)歳出(支出)合わせて15億3,670万円となり、前の年度と比べて約2億770万円の減額となりました。

歳入(収入)の内訳を見ると、組合を構成する市町村からの分担金や負担金が約6億4,800万円(全体の約42%)、国などからの借入金である地方債が約8億5,570万円(全体の約56%)となっており、今年度も引き続き、新しい消防庁舎の建設、沖縄県消防指令センターの更新に加え、消防デジタル無線の整備、災害用の機材を運ぶための車両(支援・資器材搬送車)整備などの事業を進める予定です。

一方、歳出(支出)の内訳は、事務や人件費などの総務費が約7,490万円(全体の約5%)、消防活動に関わる消防費が約13億9,800万円(全体の約91%)となっています。総務費が増えた理由としては、新しい職員の採用(7名)、会計年度任用職員の採用、退職手当の支払いに必要な経費などが挙げられます。消防費が減ったのは、消防庁舎建設にかかる費用が前年度より少なくなったためです。

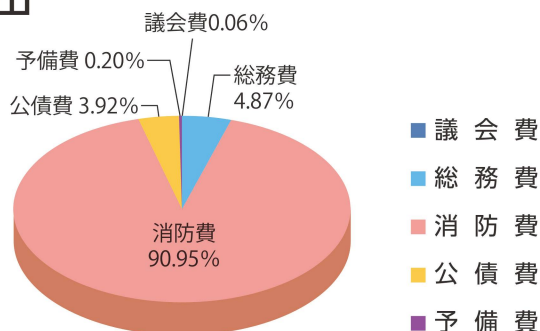
(単位：千円)

歳入	令和7年度 予算額 A	令和6年度 予算額 B	増減額 C=A-B	増減率(%) C/B×100	構成比(%) A/歳入合計
分担金及び負担金	648,080	609,196	38,884	6.4	42.17
使用料及び手数料	201	151	50	33.1	0.01
国庫支出金	1	1	0	0.0	0.00
県支出金	7,332	1	7,331	733,100.0	0.48
財産収入	201	2	199	9,950.0	0.01
繰入金	17,887	18,182	△295	△1.6	1.16
繰越金	3,000	3,000	0	0.0	0.20
諸収入	4,298	4,333	△35	△0.8	0.28
地方債	855,700	1,109,600	△253,900	△22.9	55.68
歳入合計	1,536,700	1,744,466	△207,766	△11.9	100.00

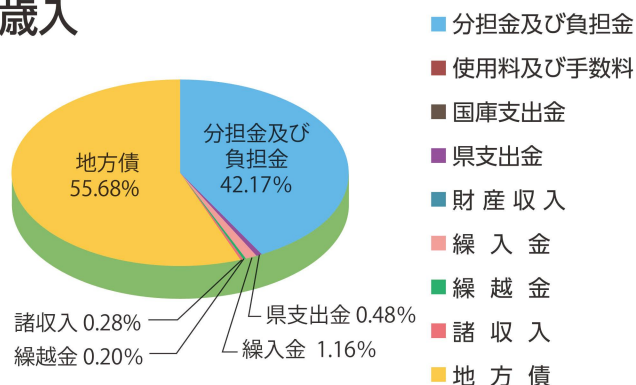
(単位：千円)

歳出	令和7年度 予算額 A	令和6年度 予算額 B	増減額 C=A-B	増減率(%) C/B×100	構成比(%) A/歳入合計
議会費	950	950	0	0.0	0.06
総務費	74,867	62,348	12,519	20.1	4.87
消防費	1,397,672	1,638,572	△240,900	△14.7	90.95
公債費	60,211	39,596	20,615	52.1	3.92
予備費	3,000	3,000	0	0.0	0.20
歳出合計	1,536,700	1,744,466	△207,766	△11.9	100.00

## 歳出



## 歳入



● 海岸にいるとき

1. 高台がない場合は、3階建て以上の建物に入り、3階以上の高さへ避難しましょう。
2. 津波は繰り返し襲来するため、いったん波が引いても絶対に戻ってはいけません。
3. 津波避難標識が整備されている場合は、避難の目安として活用してください。
4. 海水浴中の場合は、監視員やライフセーバーの指示に従って避難しましょう。



参考文献：国土交通省 気象庁、消防庁 防災マニュアル 地震対策啓発資料

## 限りある命のバトン、 救急車は本当に必要な人のために

### ～救急出動件数が過去最多に～

令和5年度（2023年度）の救急出動件数は2,542件、搬送された人員は2,349人で、いずれも過去最多となりました。

この中には、

「救急車で行けば早く診てもらえる」

「タクシーだとお金がかかる」

「どの病院に行けばいいかわからない」

といった理由による、緊急性や重症度の低い要請も含まれています。

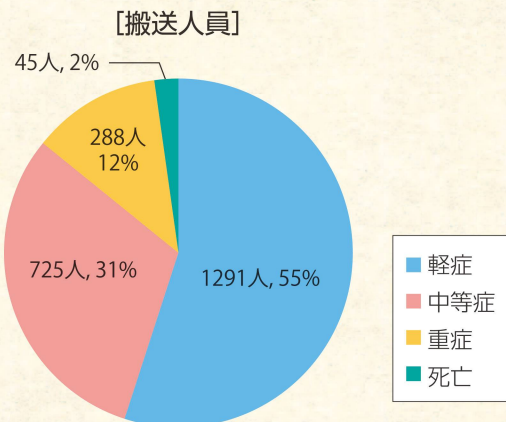
なお、令和2年度（2020年度）は新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に出動件数と搬送人員が減少しましたが、今後は高齢化の進行などを背景に救急車の利用はさらに増加していく見込みです。

また、令和5年度に救急搬送された方の**半数以上が「軽傷」**（＝入院を必要としない程度のけがや病気）と診断されています。ただし、この「軽傷」には、骨折などで自力で病院に行けず、救急車で搬送が適切だったケースも含まれています。したがって、「軽傷＝不要な要請」とは一概に言えません。

しかしながら、救急車は限られた資源であるため、本当に緊急性の高い方が確実に利用できるようにするためには、適正な利用が求められています。

一刻も早く治療が必要な命を救うためには、皆さま一人ひとりのご理解とご協力が不可欠です。

**「救急車の適正利用」にご協力をお願いいたします。**



※傷病程度

■ 死亡

初診時において死亡が確認されたもの

■ 重症（長期入院）

傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

■ 中等症（入院診療）

傷病程度が重症又は軽症以外のもの

■ 軽症（外来診療）

傷病程度が入院加療を必要としないもの

## “その時”のために～ 沖縄で暮らす私たちが知るべき地震・津波対策

沖縄は、美しい自然に恵まれた場所ですが、地震や津波のリスクも存在しています。特に、南海トラフ巨大地震や沖縄トラフでの地震発生が懸念されており、私たちにとって決して他人事ではありません。

だからこそ、日ごろから地震や津波への備えを学び、行動につなげることが大切です。

自分自身や大切な人の命を守るために、正しい知識を身につけ、落ち着いて行動できるように、今こそ防災について一緒に学んでいきましょう。

### 【屋内にいるとき】

#### ● 自宅にいる場合

1. 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難しましょう。
2. コンロの近くにいた場合は、調理器具が滑り落ちて火傷する恐れがあるため、コンロから離れ、揺れが収まった後に火を消しましょう。
3. 寝室には倒れやすい家具を置かず、頭の上に物が落ちてこない場所で寝るようにしましょう。



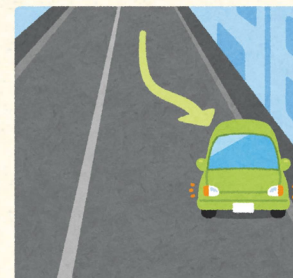
#### ● 人が多い施設にいる場合

1. 係員の指示に従い、落ち着いて行動しましょう。
2. 出口にあわてて走り出さないようにしましょう。
3. エレベーターは使用せず、階段で避難しましょう。
4. ガラス製品や陳列商品の落下に注意しましょう。

### 【屋外にいるとき】

#### ● 車に乗っているとき

1. 急ブレーキは避け、徐々に減速し、道路の左側に停車しましょう。
2. ハザードランプを点灯させ、エンジンを切って揺れが収まるまで車内で待機し、カーラジオで情報を確認しましょう。
3. やむを得ず車を離れる場合は、連絡先を車内の見える場所に記入し、貴重品（車検証など）を持って徒歩で避難しましょう。
4. 車での避難は緊急車両の妨げになりますので控えましょう。



#### ● バスに乗っているとき

1. 強い揺れで急ブレーキがかかることがあるため、座っている場合は姿勢を低くし、頭部をかばんなどで守りましょう。
2. 立っている場合は、手すりや吊り革をしっかり握って転倒を防ぎましょう。
3. バスが停車した後は、乗務員の指示に従って行動してください。

#### ● 街中にいるとき

1. ブロック塀や石塀から離れましょう（倒壊の危険）。
2. 電柱や自動販売機も倒れる可能性があります。側から離れましょう。
3. 近くに丈夫な建物がある場合は、建物内に避難しましょう。
4. 耐震性の低い建物が倒壊し、瓦礫やガラスが散乱する恐れがあります。周囲の状況に十分注意しましょう。



# 災害を知り、災害に強くなり、地域も強くなる

去る6月27日(金)、中城村字当間公民館にて、防災に関する講話に参加しました。

中城村と北中城村には、それぞれ8地域ずつ自主防災組織が設立されています。

まず、自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚と連帯感に基づき、自主的に結成される組織です。災害による被害を予防・軽減するための活動を行っています。皆さんは「防災の三助」をご存じでしょうか？これは「自助」「共助」「公助」の3つを指します。「自助」とは、自分自身の力で災害を乗り越えることです。たとえば、家具を固定したり、耐震シートを貼ったりして転倒を防止したり、出入口や寝る場所の周囲に家具を置かないようにすることが挙げられます。「共助」は、大規模災害時に特に重要になる、地域住民同士の助け合いを指します。日ごろから近所の方々とのコミュニケーションを大切にし、支え合える関係を築いておくことが大切です。「公助」とは、国や県、自治体など公的機関による支援を指しますが、阪神・淡路大震災や東日本大震災のような大規模災害時には「公助の限界」が明らかになりました。



いつ災害が発生するか分からない現代においては、地域住民による自主防災組織や消防団の力、すなわち「自助、共助」の取り組みが不可欠です。「自分の身は自分(達)で守る」という意識を常に持ち、日頃から備えておくことが重要です。

## 中城海上保安部と8消防本部が合同訓練 水難事故に備え連携強化

沖縄本島東海岸地域を管轄する中城海上保安部と、県内の8つの消防本部は7月3日、沖縄市海邦町の中城新港地区小型船だまりで合同訓練を実施しました。

この訓練は、水難事故の発生時に備え、救助技術の共有と向上、そして関係機関との連携強化を目的としたもので、66名が参加しました。

訓練では、漁業中に2名が溺れて行方不明になったとの想定で実施。参加者はロープを手に持ち等間隔に並び、ブイを中心に円を描くようにして搜索する【環状搜索】を行い、海底からの救出訓練に取り組みました。



## テールゲートリフター操作業務に係る特別教育



令和7年7月9日、令和7年度事業である支援・資器材搬送車整備に伴い、北中村内の事業者である和掃業の辺土名 和則(へんとな かずのり)さん協力を得て、テールゲートリフター(トラックの荷台後部に取り付けられている昇降装置)操作業務に係る特別教育(実技教育)を実施しました。テールゲートリフターは動力を使って荷物を持ち上げる装置のため、安全面の配慮が非常に重要です。そのため、労働安全衛生法に基づき特別教育が義務付けられており、リフターの構造・操作方法、異常時の対応などを学びました。

## 救命講習

令和7年7月9日、中城北中城消防本部にて、中城村自治会長会の皆さんを対象に普通救命講習を行いました。自治会長として地域の「安全・安心」のため受講していただきました。今後も地域の救命率及び防災力の向上にご尽力賜りますようお願い申し上げます。



本消防本部では、毎月第二日曜日に応急手当講習会を実施しておりますので、詳しくはホームページをご覧ください。

# 消防本部予防課からのお知らせ

新たに事業を開始するためテナント借りる・貸す場合にはご注意を

## 🔥 火災を未然に防ぎ、大切な命と財産を守るために

中城北中城消防本部予防課は、皆様が安心して暮らせるよう、火災予防に日々取り組んでいます。特に、「建物の使用状況が変わる」(用途変更)際には、火災の危険性を高めたり、万が一の災害の際の避難や消火活動に影響が出る可能性があります。

そこで、皆様に知っていただきたい大切なことがあります。



## 💡 計画段階でのご相談がカギ！

新しい事業を始めたり、建物の使い方を変更(用途変更)する場合は、**早めにご相談ください!** 消防用設備の必要性や、どんな届出が必要かを確認でき、スムーズに使用を始められます。

### こんなときにはぜひご相談を！

- ✓ 飲食店や福祉施設などへの用途変更
- ✓ 建物の新築・増改築
- ✓ テナントの入れ替えや建物の一部変更使用

## ⚠️ 届出でトラブル防止！

建物の用途や構造によっては、消防用設備の設置や届出が義務です。届出がないまま事業を始めると、所有者・賃借人の間でトラブルになるケースも…。円滑な事業運営のためにも、必ず事前の届出を！



## 📄 相談時にご準備いただく書類

防火対象物概要表  
案内図・平面図・詳細図・立面図・断面図・  
展開図・室内仕上表・建具表 など

## 📄 届出の種類は？

防火対象物使用開始届出書 など  
消防法や中城中城北中城消防組合火災予防条例により用途や規模に応じて他の届出が必要な場合もあります。  
詳しくは予防課までお気軽にお問合せください。

**お問合せ先** 中城北中城消防本部 予防課

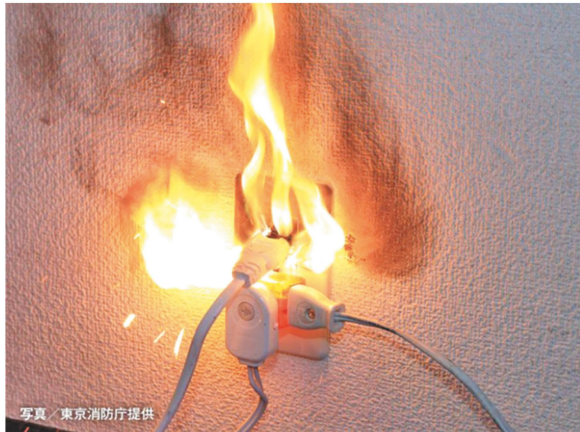
北中城村字大城404番地 ☎098-935-4749

# 火災の火種見落としていませんか？

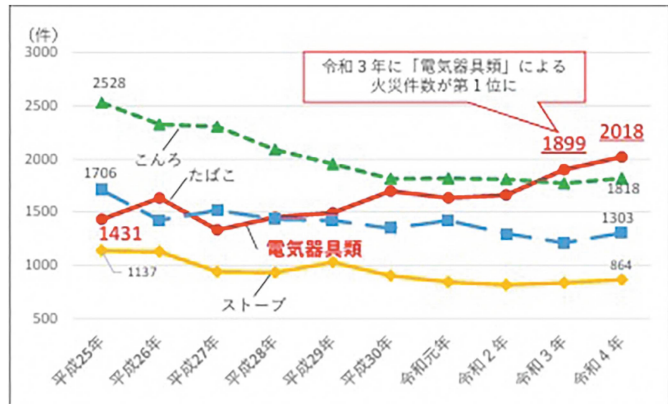
## 🔥 電気火災を防ぎましょう！

全国的に「電気が原因の火災」が増えてきているのをご存じでしょうか？ 全国の住宅火災における電気器具発火件数は、令和4年に2,018件を記録し、10年前から約4割増加し住宅火災の火災原因で最多となります。延長コードやタコ足配線、充電器の使い方など、ちょっとした油断が思わぬ火災につながる可能性があります。

暮らしの中の「ちょっとした注意」で、火災はしっかり防ぐことができます。電気火災の隠れた危険がないかチェックしていただいてポイントを紹介します。



写真/東京消防庁提供



住宅火災における発火源別火災件数の推移

## ⚠️ 【電気火災を引き起こす4つの事例と対策】

### 🔥 延長コードの断線による短絡(ショート)

#### 事例

家具の下敷きになっていた延長コードが経年劣化で内部断線し、夜間にショートして火災に至った

#### 対策

- ✓ 定期的に表面の被覆・芯線露出・変形の有無を点検(電源が切れたりすることがあれば要注意)
- ✓ 家具下や同じ場所で長時間踏まれる箇所は保護カバーや配線カバーを利用

### 🔥 タコ足配線による電気容量オーバー

#### 事例

電気ストーブ・こたつ・ホットカーペットを同一タップで使用し、内部ヒューズの溶断不良で火災発生

#### 対策

- ✓ 家電ごとの消費電力(W)を機器本体または取扱説明書を確認(複数の高消費電力機器は必ず別系統のコンセントに分散接続)
- ✓ ブレーカー付きタップの導入で過負荷を自動遮断

### 🔥 トラッキング現象による火災

#### 事例

3口マルチタップに長期間ほこりが堆積し、湿気を含んだホコリがショートして火災発生

#### 対策

- ✓ 月に1度はプラグ周辺とコンセント内部を掃除機や乾いた布で清掃)
- ✓ ほこりが入りやすい場所には防塵キャップを装着
- ✓ 長期間使わないプラグは必ず抜いて保管

### 🔥 モバイルバッテリーによる火災

#### 事例

モバイルバッテリーを高温の車内に放置し、熱暴走して発火した

#### 対策

- ✓ 必ず純正充電器・純正電池を使用し、PSEマークがある電池を使用する
- ✓ 落下や衝撃で外装にひび割れや変形がある電池は使用しない
- ✓ 廃棄時は中城村役場住民生活課・北中城村役場住民生活課にご相談ください

電気火災は、機器や配線の“見えない劣化”が原因です。日頃からの定期点検・掃除・正しい製品選びが最も効果的です。「うちは大丈夫」と思わず、全家庭で点検習慣を広めましょう！